

ぬくもり便り

第23号
令和6年8月

■コロナ感染症は収束したか？

令和2年2月頃から始まったコロナウイルスによる感染症は、令和5年5月には感染症分類で5類に引き下げられました。しかしながら令和5年度もコロナ感染症は収束したわけではなく、市内の介護施設では、相変わらずスタッフ・入所者に感染者が発症しておりました。それは当法人の各施設も例外ではありませんでした。令和6年度の最近になってようやく収束感が見えてきた気がします。

4年近くわたるコロナ禍では、高齢者介護の福祉事業のみならず、わが国の多くの産業分野で、企業経営は大きな影響を受けて、どの企業も生き残りをかけた防衛策を実施してきました。その影響かと思いますが、最近こんな新聞記事を見受けました。

■コロナ禍における意外な影響

一つは「業歴100年以上の老舗企業の倒産が令和5年度には108件も発生している。老舗イ

コール優良企業とは限らない」と言う記事です。コロナ禍で売上高激減への対処が、不十分であったものと思います。

もう一つは「オーストラリアのカンタス航空やシンガポール航空などの外国の航空会社が、新千歳や旭川・帯広などの地方空港への定期便運航を断念する」と言う記事です。最近では外国人旅行者のインバウンドが回復しつつあると言ふニュースを多く見かけられる中で、運航断念の記事は不思議でした。

記事の詳細を読んでいくと、コロナ禍で世界中の多くの飛行機が飛ばなくなったため、国内の石油売り各社がジェット燃料の生産量を減産したことと、ガソリン需要も低迷したため、コロナ禍で

製油所の再編成が進められて、製油所操業を中止した工場もあり、海外の航空会社からの急な注文にジェット燃料の増産は難しいことが背景にあるようです。

■コロナ禍の経営環境と介護事業

老舗企業の倒産や石油元売り企業と航空会社の記事を引用するまでもなく、介護業界においてもコロナ禍では多くの法人が経営環境の悪化に苦しんできました。東京商工リサーチによると、令和5年に休業業・解散した介護事業者は、過去最高の510件であり、倒産した事業者は122件であったそうです。

コロナ禍における当法人の経営状況を、令和2年度と5年度を事業活動収支等の比較で振り返ってみますと、収入は2・6%の減収でした。一方、利益については、28・6%の減益となり、コロナ禍では減収減益傾向が続きました。最悪期の経営状況は令和4年度で、対前年度比88・2%の減益でした。その最も大きな原因は、電気代の大幅な値上げであり、水道光熱費全体では、対前年度比較で40%の支出増となったことでした。

■諸物価高騰に追い付かない介護報酬の改訂

ウクライナ戦争やイスラエルとパレスチナガザ地区の戦争、更には円安による輸入品物価の値上がりなどで、電気・ガス・灯油などの光熱費の高騰、各種食料品の値上がりなどで、介護施設を取り巻く経営環境は、今も厳しい現実に直面しています。

令和6年4月には介護報酬の改訂が3年ぶりに実施されました。しかしながら業界団体要望の介護報酬9%増には遠く及ばず、介護報酬改定は1・59%増にとどまりました。その内の0・98%は介護職員処遇改善のための人件費充当加算額です。従って実質的な基本報酬引き上げ幅は前回の0・7%よりも低い0・61%です。介護事業の収入の多くは、このように公定価格で決まります。それ故に施設経営面からは、各事業の稼働率アップと介護支援ロボットやデジタル技術を活用しての生産性向上に取り組むことが喫緊の課題となってきました。

社会福祉法人清風会

理事長 山崎 幸男



令和五年度事業報告

■ケアハウス事業

「世界にひとつだけの花」が
 ットした平成15年に開設したケ
 アハウスは開設して20年が経ち
 ました。

開設当時からご入居されている
 方は20年の歳を重ねられたこと
 になります。最高年齢は100歳、
 平均年齢は約89歳と年々高くな
 りますが、それぞれ自立した生活
 に向け、お元気に過ごされていま
 す。



コロナが5類に移行され、私た
 ちは周囲の感染状況に注意しなが
 ら、元の生活に戻りつつあります。
 近郊の商業施設への買い物ツア
 ーや、季節毎にドイツ村や、袖ヶ
 浦公園へ出かけ、イチゴ狩りやミ
 カン狩りでは、お腹いっぱい季節
 の味を堪能できました。



外出の中でも海ほたるドライ
 ブは大好評で「海を見たのは久し
 ぶり」「一生の思い出が出来た」
 「冥途の土産ね」と大笑い。その
 久し振りの笑顔に私たちも嬉しく
 て、胸が熱くなった事を思い出し
 ます。
 入居者様がこれからも穏やかに、
 笑顔で生活出来るよう、職員一同
 精進して参りたいと思います。

■デイサービス(通所介護)事業

ぬくもり五井東

デイサービスセンターぬくもり
 五井東は、ケアハウスぬくもりの
 郷に併設されており、介護度の高
 い方でも安心してご利用していた

だけのデイサービスです。
 昨年度は感染対策を充分に行い
 少しずつではありますが、外出行
 事を実施しています。
 いちご狩りは毎回好評を博して
 おり、袖ヶ浦公園の散策や藤棚見
 学も大変喜ばれておりました。
 今後もご利用者様のご要望に寄
 り添う運営をしていきたいと思
 います。



ぬくもり君塚

ここ数年、外出すら儘ならない
 状況が続いていましたが、君塚デ
 イの特徴である外出プログラムを
 昨年度より再開しました。コロナ
 禍で外出機会を失われていたご利用
 者様は多く、外出プログラムの

再開を心待ちにされていた方が多
 くらつしやいました。以前のよ
 うに…とはいきませんが、可能な
 限りの感染対策等を講じながら、
 ご利用者様が安心して楽しみに来
 所して頂けるようなイベントの計
 画・サービス提供をしていきたい
 と思います。



ぬくもり今富

ぬくもり今富では、センター内
 敷地にて野菜を栽培し、ご利用者
 様と一緒に収穫をしたり、取れた
 野菜を昼食時に召し上がって頂い
 たりしております。自然豊かな環
 境の中にあり、緑のある落ち着い
 た場所の中で過ごしていただ

す。

認知症プログラムにも力を入れており、認知症の方がご利用しやすいデイとなっており。

また、グループホームが併設されており、慣れ親しんだ場所での介護の状態に合わせ、段階的に生活が送れる環境作りが出来ております。



■グループホーム事業 ぬくもりの家君塚

新型コロナウイルスも5類に移行され、ようやく活動も徐々に以前のように戻ってきました。外出行事やボランティアの受け入れを

積極的に行い、活動的なグループ

ホームに変わりつつあります。個人の想いを尊重し「やりたいこと」や「行きたいところ」に出かけられるように、日々のコミュニケーションを大切にしながら活動を行うようにしています。

これからも毎日が楽しく元気に安心してお過ごし頂けるよう感染対策を継続して行い、正しく予防をしながら皆様の生活を支えていきます。

ぬくもりの家今富

笑い声と歌声に溢れている今富では、ぬくもり菜園で収穫した新鮮な野菜をたくさん食べて元気に過ごしています。トマト、ピーマン、たまねぎ、じゃがいも、きゅうり、なす等々育てています。初めて挑戦したシソジュースは大好評！！

外出、交流会、ボランティアさんのイベントは、入居者様も職員も楽しめるように計画しています。

家庭的な雰囲気、入居者様の思いを大切に、寄り添ったケアを継続して参ります。



■居宅介護支援(ケアマネ)事業

居宅介護支援センターぬくもりは、介護が必要となった際に、可能な限り住み慣れた環境のもとで、自立した生活を営む事ができるようにお手伝いします。

介護相談をはじめ、介護保険の代行申請や身体・精神状態を把握しながら、グループ内の専門員のみならず、様々なサービス事業所と連携し、サービス計画を作成します。専門員は少人数ですが、皆様には、介護に係る最新の情報を提供できるよう頑張っております。

また、「ぬくもり介護相談センター」による介護相談も行っております。今後も地域の皆様に愛さ

れる事業所を目指して参ります。

■訪問介護(ぬくもりケアセンター)事業

ぬくもりケアセンターは、主にケアハウスのご入居者様のお部屋に訪問し、意見や個性を尊重しながら自立した生活が送れるように、お手伝いしております。

私たちは常に明るく、気持ちは若く！利用者様に寄り添い、身近な相談相手になれるよう心掛けています。利用者様から元気を頂くこともあり、笑顔に癒される事もあります。

私たちは訪問介護職員として、やりがいを持ち、誇りを持って仕事に取り組んで参ります。

■地域密着型特別養護老人ホーム(ぬくもりの家惣社)事業

令和6年度に入り新型コロナウイルスの第5類移行後2度目の季節を迎えました。「ぬくもりの家惣社」でも、昨年度に比べ活動を増やし、皆様により良い生活を提供できるように様々なイベントを催しております。食の楽しみを追求した「美食クラブ」や「南京玉すだれ」など、今まで日常だった

ご家族との面会に際しても通常面会を再開し、入所者様とご家族様には多くの笑顔の時間が戻ったと実感しております。職員も入所者様を外に連れ出す機会が自然と増えました。働く側としても笑顔で働く事が一番だと感じていますので、行動を恐れず適切な対応を心掛けてより良い職場になるよう一同努めてまいります。

今後入所者様、ご家族様、職員の多くの笑い声が響くような様々な活動を通じて地域の「核」になれるような施設作り、高齢者福祉施設としての機能をより十分に発揮していきたいと思えます。



ものが何か特別に輝いているようにも思える毎日を提供しています。

令和5年度の決算概要 (社会福祉法人 清風会)

<資金収支計算書>

項目	金額(千円)
(1)事業活動資金収支差額	26,381
①事業活動収入	627,956
・介護保険事業収入	500,718
・老人福祉事業収入	111,205
・その他の収入	16,033
②事業活動支出	601,575
・人件費支出	372,402
・事業費支出	97,903
・事務費支出	126,239
・その他の支出	5,031
(2)施設整備等資金収支差額	▲ 18,399
①施設整備等収入	4,750
・施設整備等補助金収入	4,750
・設備資金借入金収入	0
・その他の収入	0
②施設整備等支出	23,149
・設備資金借入金元金償還金	21,838
・固定資産取得支出等	802
・その他の施設整備等	509
(3)その他の活動資金収支差額	▲ 17,496
①その他の活動収入	8,850
②その他の活動支出	26,346
当期資金収支差額合計	▲ 9,514
前期末支払資金残高	67,681
当期末支払資金残高	58,167

注:介護保険事業収入及び人件費支出には、特定及び処遇改善加算額が含まれる

<事業活動計算書>

項目	金額(千円)
(1)サービス活動増減差額	8,028
①サービス活動収益	621,923
②サービス活動費用	613,895
・減価償却費	35,688
・国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 19,041
・その他サービス活動費用	597,248
(2)サービス活動外増減差額	1,002
①サービス活動外収益	6,033
②サービス活動外費用	5,031
(3)特別増減差額	▲ 61
①特別収益	4,750
②特別費用	4,811
当期活動増減差額	8,969
前期繰越活動増減差額	▲ 9,081
当期末繰越活動増減差額	▲ 112
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動増減差額	▲ 112

注: 拠点及びサービス区分間収益・費用は除外した。

令和5年度決算概要

<貸借対照表>

項目	金額(千円)
(1)資産の部	948,795
①流動資産	91,218
②固定資産	857,577
・基本財産	804,166
・その他の固定資産	53,411
(2)負債の部	448,975
①流動負債	59,742
②固定負債	389,233
(3)純資産の部	499,819
①基本金	42,901
②国庫補助金等特別積立金	457,030
③次期繰越活動増減差額	▲ 112
(4)負債及び純資産の部合計	948,794

編集後記

この夏、新紙幣が発行され、話題となりました。最新の偽造防止技術と、わかりやすさを重視したユニバーサルデザインが用いられているそうです。

便利なキャッシュレス決済が主流となりつつありますが、新紙幣をじっくりと観察することで、おもしろい発見があるかもしれませんね。(栗記)

「ぬくもり便り」を社会福祉法人清風会広報誌として発行しました。

編集委員会事務局

市原市五井2244番地1

クレオ2ビル2階 本部

電話 0436(23)2656